

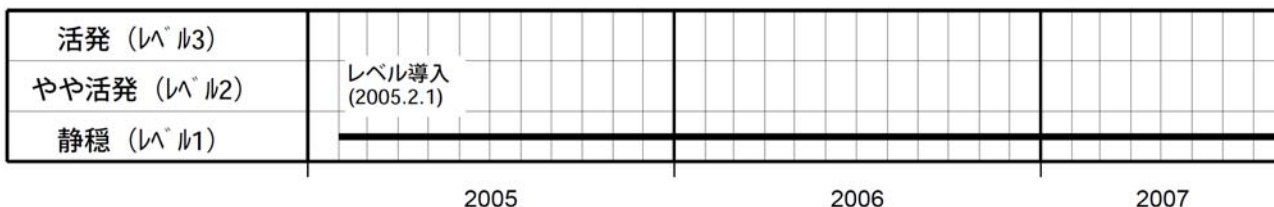
## 九重山

○ 火山活動評価：静穏な状況（レベル1）

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

2005年2月1日の導入以降、レベル1が継続しています。

火山活動度レベルの推移



○ 概況

・ 噴煙活動（図2）

噴煙は白色・少量で高さは概ね 300m（最高高度は 800m）で推移し、変化ありませんでした。

・ 地震、微動活動（図2、図3）

火山性地震の発生回数は月 7 回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図4）

GPS 連続観測では、長者原－牧ノ戸峠の基線長は、1995 年から 1996 年の噴火後の火山ガスの放出に伴うと考えられる、長期的な縮みの傾向が見えます。

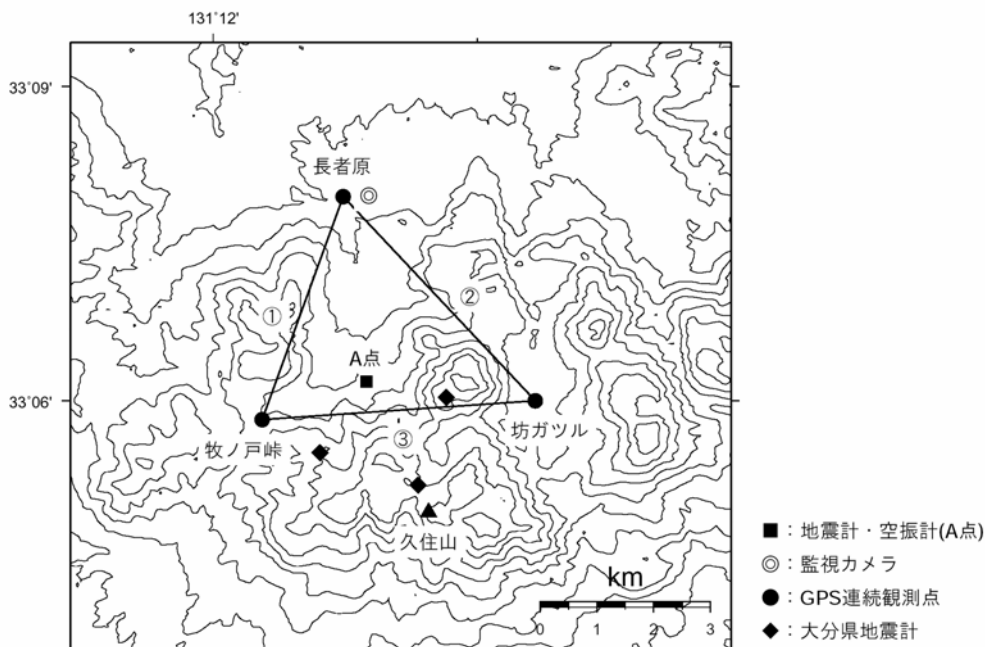


図1 九重山 観測点配置図

※この資料作成に当たっては、気象庁のデータの他、防災科学技術研究所、大分県のデータを使用しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

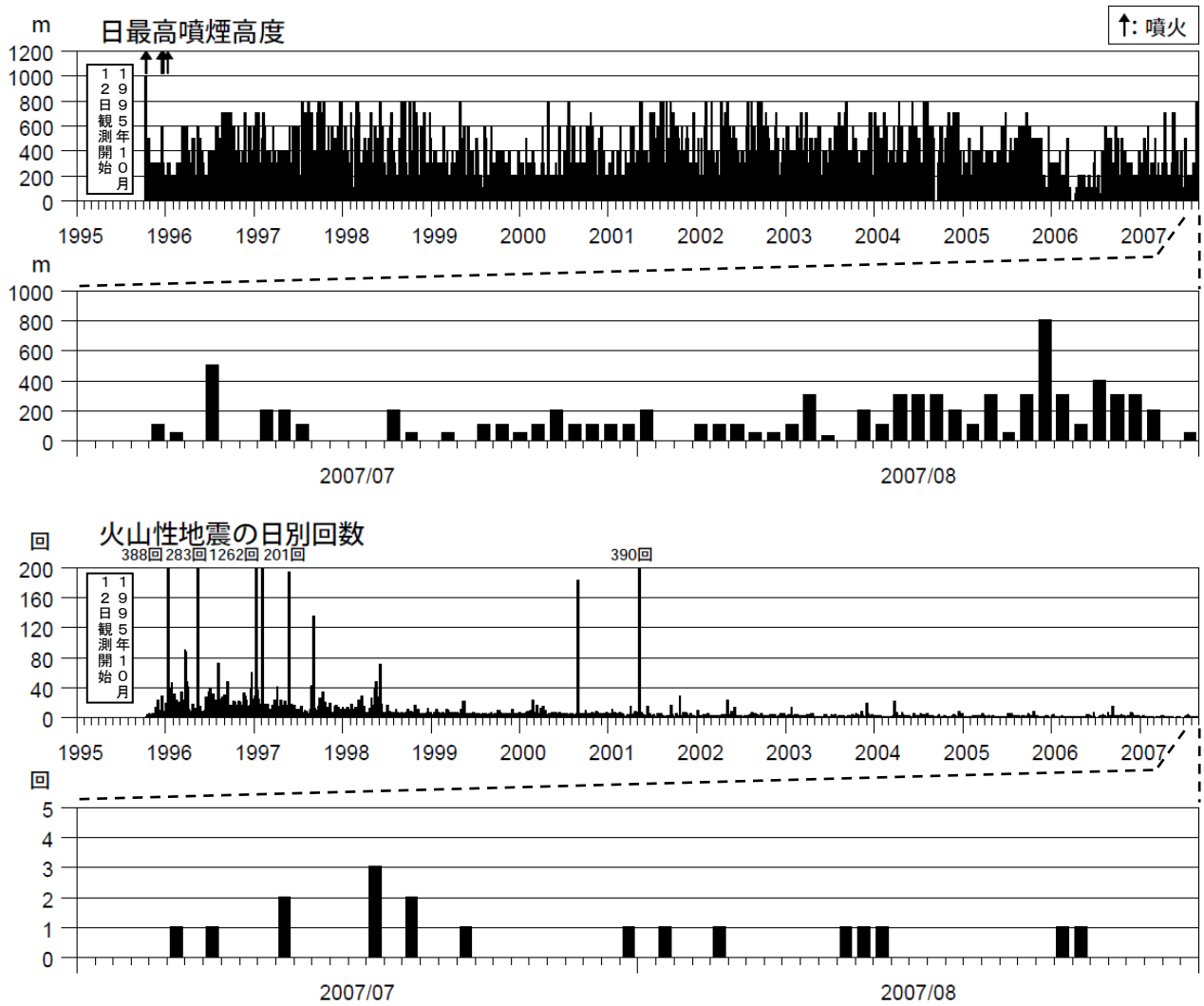


図2 九重山 火山活動経過図(1995年10月12日～2007年8月31日)

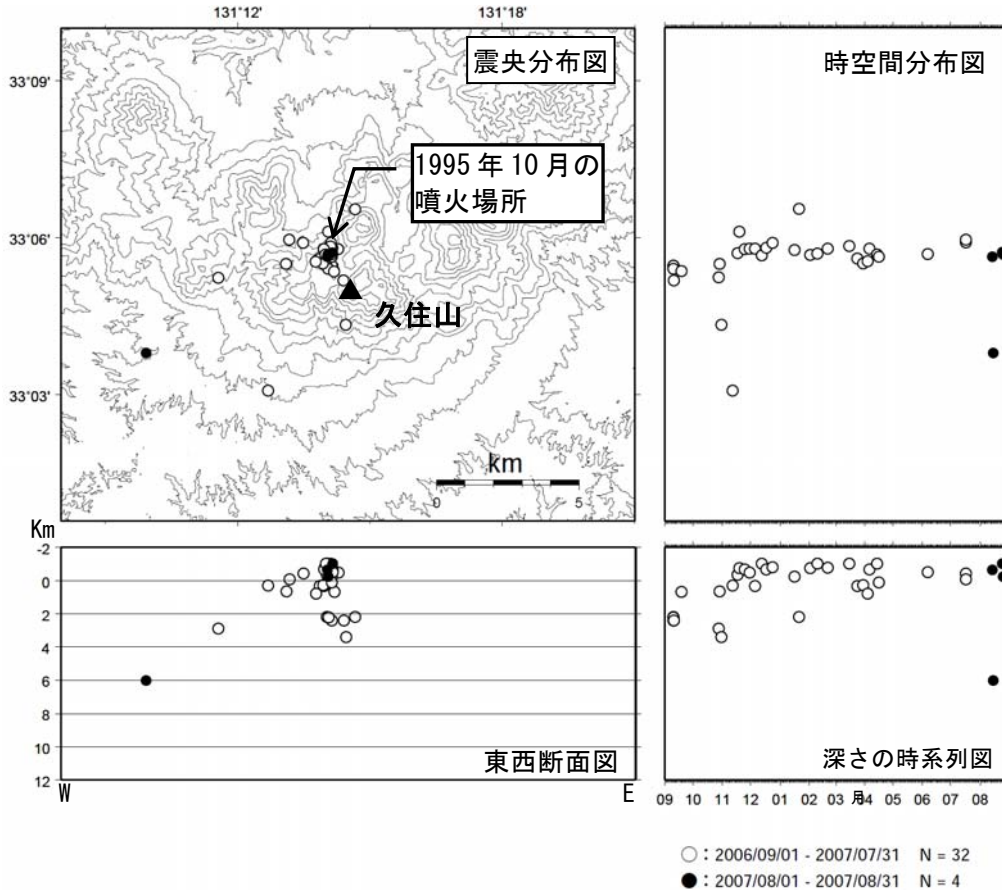


図3 九重山 震源分布図(2006年9月～2007年8月)  
2007年8月は山体付近の浅いところに3個震源が決まりました。

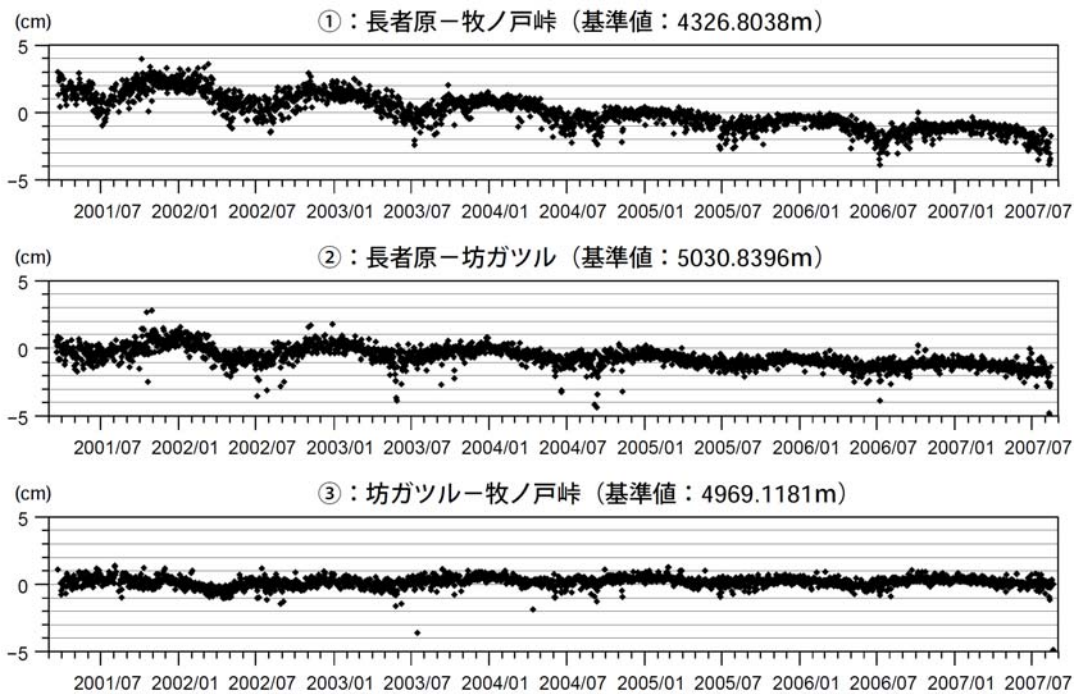


図4※ 九重山 GPS 連続観測による基線長変化(2001年3月1日～2007年8月31日)  
GPSによる連続観測では、長者原-牧ノ戸峠の基線長は、1995年から1996年噴火後の火山ガスの放出に伴うと考えられる長期的な縮みの傾向が見えます。  
※坊ガツル観測点は、データ回収が遅れています。また、長者原観測点は障害により8月下旬のデータが取れていません。